

射水市立下村小学校 活動報告

◆活動取組紹介

【アルミ缶回収】

- ・日時 (5月から2月)
- ・参加者数 全校児童 57名
- ・活動内容 スクール・ライフ・エンジョイ委員会が企画し、毎月2回のアルミ缶回収への協力を全校に呼びかける全校放送やポスター等の作成と回収を行ったことで、SDGS への取り組み意識を高めました。



【アルミ缶回収に協力する児童】

【なかよしクリーン作戦】

- ・日時 (6月、10月)
- ・参加者数 全校児童 57名
- ・活動内容 下村の環境を守ろう委員会が企画し、下校時に学校周辺や下村校区の美化活動に取り組んだことで、環境問題への実践意識を高めました。



【通学路のゴミを拾う児童】

【赤い羽根共同募金、書き損じはがき回収への協力】

- ・日時 (12月から2月)
- ・参加者数 全校児童 57名
- ・活動内容 スクール・ライフ・エンジョイ委員会が企画し、家庭での書き損じはがき回収への協力を全校放送やポスター作成等で呼びかけたことで、進んで人の役に立とうする心と実践的態度が育ちました。



【募金に協力する児童】

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

- ・アルミ缶回収のとき、全校のみんなが協力してくれたおかげで、毎回たくさんのおアルミ缶が集まってよかったです。わたしたちの呼びかけが多くの人！に伝わり、全校の心が一つになれた感じがしてうれしかったです。(6年)
- ・いろんなボランティア活動に協力してくださる地域の方がたくさんいてうれしくなりました。空き缶や募金、書き損じはがきを集めているときに、「家からいっぱい、もってきたよ！」と言って出してくれたときは、ボランティア活動をしてよかったなと思いました。(6年)

◆最後にひとこと

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことで、今年度は小規模校の特性を活かし触れ合いを重視して活動に取り組みました。少ない人数で大変な面もあったけれど、「School Life Enjoy 委員会」の名前が示すように、一人一人が自分事としてやりがいを感じながら笑顔で取り組むことができました。来年度も全ての学校教育活動の場において、心の「伝え合い」を重視したボランティア活動の推進を目指したい。